

討論

委員会ではこのような討論が行われました

令和7年度 一般会計予算について

前川原 正人 議員 **反対**

①漏洩の懸念のあるマイナンバーカード事業。
②部落解放同盟単人支部への補助金。
③小学校の休校は地域コミュニティ衰退などの課題。
④単人温水プールが老朽化を理由に休館になる。
これらの問題が十分な審議を経ず予算化されていることに反対する。

野村 和人 議員 **賛成**

物価高騰対策などの事業は、市民に寄り添った内容である。市政施行20周年を機に、市民一体となるための施策も盛り込まれている。また、必要不可欠な施設の新設などの大型建設事業や治水対策事業などのハード面の整備が計画されており賛成する。

令和7年度 介護保険特別会計予算について

前川原 正人 議員 **反対**

介護給付費準備積立基金は、出納閉鎖時点で15億7,640万円である。今後、外部委員会の高齢者施策委員会での積極的な基金活用の議論が求められていることを指摘し反対する。

松枝 正浩 議員 **賛成**

高齢者の生活の質向上、家族の負担軽減、医療費の抑制など、今後も持続可能な制度運営が求められる。国の財政措置の強化の課題はあるが、四つの基本施策を実現すべく賛成する。

令和7年度 工業用水道事業特別会計予算について

前川原 正人 議員 **反対**

特別会計というのは原則、独立採算制であるが、一般会計から300万円の長期前受金戻入で賄われている。企業は経済行為で運営をしており、採算に見合う水道料金にすることを指摘し反対する。

有村 隆志 議員 **賛成**

低廉な価格で本市への企業の進出・誘致を進めるための企業会計である。令和10年度、水道部との統合への予算と工業用水道の安定供給の予算であり賛成する。

本会議で議決された令和7年度の当初予算額

(単位：千円)

会 計 別	令 和 7 年 度		令 和 6 年 度		対前年比 (%)
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	
一 般 会 計	80,660,000	74.2%	69,580,000	71.3%	15.9
特 別 会 計	27,984,416	25.8%	27,936,123	28.7%	0.2
国民健康保険	14,218,606	(13.1%)	14,514,501	(14.9%)	(△ 2.0)
後期高齢者医療	1,965,161	(1.8%)	1,912,727	(2.0%)	(2.7)
介護保険	11,698,868	(10.8%)	11,412,721	(11.7%)	(2.5)
交通災害共済事業	17,981	(0.0%)	16,749	(0.0%)	(7.4)
温泉供給	83,800	(0.1%)	79,425	(0.1%)	(5.5)
合 計	108,644,416	100.0%	97,516,123	100.0%	11.4

会計別	令和7年度	令和6年度	対前年比(%)
企 業 会 計	19,513,719	28,883,831	△ 32.4
水 道 事 業	4,526,305	5,354,243	△ 15.5
工業用水道事業	27,437	27,670	△ 0.8
病院事業	11,477,914	19,901,858	△ 42.3
下水道事業	3,482,135	3,600,060	△ 3.3

※企業会計は、収益的支出及び資本的支出の合計額で示した。



《反称》霧島市クリーンセンター整備・運営事業
106億9,418万円



農地防災事業（唐人池廃止）
600万円

空家対策の所有者調査は

空家等対策事業

864万円

Q 空家所有者調査事業は、何件ほどを想定しているか。



前島 広紀
議員

A 職員だけでの対応が困難な場合の委託で8件想定している。

女性も活躍できる消防局へ

消防局

24億3,426万円

Q 消防局に女性職員は何名いるのか。



塩井川 公子
議員

A 職員は3名である。そのうち2名が交代制勤務員、1名が本部日勤である。

持続可能な医療費助成を

子ども医療費助成事業

6億4,578万円

Q 財源がふると納税の基金だが、今後も持続可能なのか。



野村 和人
議員

A 県などに財源の要望をしながら、全体的な調整をし、持続していく。

いじめ対策の専門的スタッフを

いじめ・不登校対策等
子どもサポート事業

2,629万円

Q いじめ認知件数が増えているが、専門的見地のスタッフはいるか。



川窪 幸治
議員

A 警察や臨床心理士などの経歴のスタッフもいる。

アンテナショップの運営は

首都圏アンテナショップ運営事業

250万円

Q 運営はどのように展開していくのか。



前川原 正人
議員

A 竹子っ好調会が運営する大田区のじゃっど☆ラボに看板や陳列棚を設置し、公式のアンテナショップとしての役割を持たせる。

霧島茶の支援を

各種農業関連施設管理事業

6,276万円

Q お茶の栽培面積の推移はどうか。また県内何位か。



藤田 直仁
議員

A 令和5年が711haで、令和6年が717haで県内3位である。